

第 25 回リバーフロント研究所研究発表会

企画グループ サブリーダー 渡邊 由美

平成 29 年 9 月 8 日（金）、豊洲シビックセンターホール（東京都江東区）にて「第 25 回リバーフロント研究所研究発表会」を開催しました。

本発表会は、当研究所の河川や湖沼、海岸などの水辺に関し、健全な水循環系の再生、災害に強靱な都市の形成、川を活かしたまちづくり、自然環境の保全と利用、河川生態の保全や再生、景観形成などに関する調査研究の成果を発表し、広く活用していただくことを目的に、年 1 回「リバーフロント研究所報告」の刊行にあわせて開催しています。

今年は、当研究所の前身である財団法人リバーフロント整備センターが設立されてから 30 周年という節目の年であり、第 1 部と第 2 部の二部構成で開催させていただきました。この発表会には国土交通省や自治体関係者、学識者、民間コンサルタントの関係者、ならびに当研究所の OB・OG 等、230 名あまりの方々にご参加いただき、当研究所 30 周年の活動を振り返り、今後の展望を考える機会となりました。

第 1 部 研究発表会

研究発表内容は、昨年度当研究所で実施した研究成果から次の 6 題について発表を行いました。

1. 旭川岡山中心市街地のかわまちづくりについて
2. 大河津分水路新第二床固に新設される魚道について
～検討状況の報告～
3. 多摩川の河川環境管理に関する研究
4. 河川水辺の国勢調査結果からみた河川環境
－ 1～5 巡目調査結果の総括－
5. 河川環境に関する施策の取り組み状況と課題の分析
について
6. 高規格堤防の機能及びその評価方法に関する基礎的
研究



第 1 部の様子

今回の発表内容を含めた平成 28 年度の調査研究の成果「リバーフロント研究所報告 第 28 号」は、当研究所ホームページ「リバーフロント研究所報

告」(<http://www.rfc.or.jp/book3.html>)にてダウンロードが可能ですので、是非ご活用下さい。

第 2 部 報告・基調講演・パネルディスカッション

初めに、設立 20 周年記念講演会以降の『この 10 年を振り返る』として、各グループ長より活動の成果報告を行いました。

- ・水循環に関する調査研究の歩み
- ・多自然川づくりに関する調査研究の歩み
- ・まちづくりと一体となった川づくり

基調講演では、中央大学理工学部の山田正教授を迎え、『水循環基本法と地域づくり、まちづくり、川づくり』と題して、水辺の将来を展望したご講演をいただきました。



基調講演の様子

パネルディスカッションでは、法政大学デザイン工学部の陣内秀信教授、北海道大学大学院農学研究院の中村太士教授、関東学院大学の宮村忠名誉教授、中央大学理工学部の山田正教授を迎え、『水辺とまちの将来を語る－安全と活力と豊かな環境を目指して－』と題して、これからの水辺に関する思いや、当研究所の調査・研究活動へのご示唆など豊富にご議論をいただきました。



パネルディスカッションの様子

公益財団法人リバーフロント研究所は、今後も河川に係る諸問題への調査研究等を通じて社会への貢献に取り組んでいきたいと考えております。